

PFI 事業についての懇談会「吉良町女性の会」 会議録（要旨）

日 時：平成 29 年 12 月 6 日（水） 午後 7 時 00 分 ～ 8 時 30 分

会 場：西尾市役所 本庁舎 5 階 53 会議室

出席者：中村市長、企画政策課 PFI 事業検証室 3 名

参加者：吉良町女性の会 21 名

1. 司会
2. 市長あいさつ
3. 吉良町女性の会あいさつ
4. PFI 事業の現状についての説明
5. 質疑応答

女性の会

今まで吉良コミュニティ広場の体育館や吉良野外趣味活動施設体育館を利用していた。新しいアリーナ棟の大・小アリーナは両方共卓球ができるよう、卓球台を配備してほしい。

PFI 事業検証室

詳細まで決まっていないが、意見として所管課であるスポーツ課に伝えておく。

女性の会

PFI 事業に関しては説明不足だと思う。スポーツ施設が多い。老人も使える施設が欲しい。現在の吉良町公民館の耐震性はどうか。

PFI 事業検証室

PFI 事業の見直し意見として承る。耐震基準は標準が 0.6 だが、現吉良町公民館は 0.35 である。耐震補強した場合、吉良町時代の試算で筋交い 39 箇所入れるなどの費用は約 3 億円。

女性の会

今回の計画では吉田地区ばかり新設され、横須賀地区は体育館が無くなる。津波の避難場所が無くなる。吉良コミュニティ広場の体育館は雨漏りがするので改修が必要。

市長

津波避難場所については危機管理局がシミュレーション中。しっかりと対策をする予定。

女性の会

荻原小学校が一時退避所になっているが校舎 3 階でも危ないと言われた。新しいアリーナ・支所棟はなぜ 2 階建てなのか。より多くの人々が逃げられるように屋上に柵をつけるなどしてほしい。避難機能が

あり、公民館と同等の機能が残る形のアリーナ棟が欲しい。

PFI 事業検証室

津波ハザードマップでは支所棟の浸水予想は1~2mと表示されている。

女性の会

旧西尾市エリア各所にある、ふれあいセンターがアットホームで好ましい。
現在の吉良町公民館の職員にもっと柔軟な対応をしてほしい。地域協働が目標なら職員ももっと地域イベントに参加してほしい。

西尾市・生涯学習課

合併前の旧幡豆郡三町エリアは中央集中型（大型公民館）で、旧西尾市エリアは地域分散型（ふれあいセンター方式）をとってきた経緯もあり、新西尾市では均一化されていないのが現状であり、今後の課題である。

女性の会

岩瀬文庫にあるふれあいスペース的なものがほしい。吉良町公民館は暗くて仕切られていて、人のふれあいが無い。

安城の交流センターは地域に根づいたオープンスペース型。他市町村の施設を参考にしてほしい。支所棟のフィットネスクラブは月7,000円と書いてあるが、払える人しか行けない。赤ちゃんからお年寄りまで集まれるような施設が欲しい。

PFI事業は現段階で、どの程度まで変更可能なのか。津波一時退避所として支所棟（400名）アリーナ棟（600名）とあるがもっと収容人数を増やして欲しい。

PFI 事業検証室

地域ふれあいの場としてのラウンジはアリーナ等の入り口に予定されている。

女性の会

吉田校区の避難訓練に参加したが、小学校の屋上は上がりにくく寒かった。支所棟に避難所としての機能をもっとつけてほしい。どうせ費用をかけるのならもっと充実を。

フィットネスの利用料金がホワイトウェイブに比べて高いと思う。

PFI 事業検証室

ホワイトウェイブの利用料金は、ゴミ焼却熱を利用していることもあり費用的に抑えられている。

女性の会

支所棟のフィットネスの来客見込みはどうなっているのか。もし、来客数が予想以下で採算が合わない場合、3年で撤退すると聞いているがどうか。撤退してしまった後の計画はどうなのか。

PFI 事業検証室

S P Cからの提案事業であり見込みは5年で10万人と見込まれている。撤退の可能性はある。現時点で撤退後の計画はない。

女性の会

P F Iのメリット・デメリットを聞きたい。

PFI 事業検証室

メリットは従来型の公共事業では市の財源でしか建設・整備・運用・管理ができなかったが、民間を活用することで民間の発想で計画立案できる。維持管理運用を民間に任せる形なのでコストを抑えることができる。

デメリットはP F I 自体が近年採用され始めた手法なので、まだ実績が乏しい。

女性の会

支所棟のフィットネスは市民要望ではないと思う。フィットネスの採算性が難しいと見込みながら計画するのは、税金で維持させているようにみえて、P F Iの主旨と異なっていると思う。

PFI 事業検証室

近隣では安城市のアンフォーレという建物がP F I 事業としては比較的うまくいっている。アンフォーレは市の規制が多く、民間の自由度に欠ける面もあるようだが。

女性の会

吉良中学校の一部市民開放については、学校敷地に一般人を入れることは心配。

PFI 事業検証室

学校関係者は学校敷地内でも動線やエリアを明確に仕切れて生徒の安全が確保されるのなら、開放しても良いと考えている。小中学校の地域への一部開放（交流）・公民館機能導入は文部科学省の方針でもある。豊田市の学校で取り組んでいる事例がある。

女性の会

吉良コミュニティ広場の体育館は現時点でも予約が取れないほどの状態。旧西尾エリアの鶴城体育館の改修の影響でさらに予約混雑が激化している。なぜ体育館ではなくドームの建て替えなのか。ドームでは使用用途が限られる。フットサルなどは週末ぐらいしか需要がないと思う。

PFI 事業検証室

体育館はアリーナ棟として建設が予定されている。さらに体育館を作ることは、公共施設の圧縮・削減が目的の公共施設再配置から外れてしまう。

女性の会

現吉良町公民館の調理室がなくなると料理関係はどうなるのか。吉良中学校になってしまうのか。

PFI 事業検証室

現計画では吉良中学校内にキッチンスタジオを整備する予定。一色町の健康センター内にキッチンスタジオを改修整備しています。ただ、現時点での調理室稼働率は吉良町公民館・横須賀ふれあいセンターあわせても15～20%である。

女性の会

PFI事業はいろんな施設が対象になっているが市民は把握できていないと思う。こんなにいろんな施設を包括的にやる必要があるのか。

アリーナ棟の図面を見ると、現吉良町公民館に比べて明らかに部屋数が少ない。吉良町文化協会には60団体あるが、アリーナ棟は会議室等が3部屋しかない。公民館機能を移すのは良いが、学習室もアリーナ棟図面では部屋ではなくオープンスペースになっているし、和室もない。

吉良中学校の改修も良いが、吉良町には古くから継承された歴史があるので、歴史に触れられるような工夫があっても良いと思う。

(懇談会終了)